

令和 6 年度

事業者番号

0116

事業所番号

011604

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	グランエミオ所沢1期2期 (スロープ棟含む)	
事業所所在地	市区町村	所沢市
	字・地番	くすのき台一丁目14番地の5
産業分類名(中分類)	56 各種商品小売業	
分類番号(中分類)	56	
事業活動の概要	事業内容	雑貨、カフェ、食品等の小売業

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	第3計画期間の基準排出量に対し、削減計画期間中、年平均で8%以上を削減します。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	28,508	t-CO <sub>2</sub>			
	削減目標量(計画期間合計)	2,480	t-CO <sub>2</sub>	事業所区分	第1区分-(1)	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	2,465	3,049	3,128	3,196	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO <sub>2</sub>	4,804	5,940	6,095	6,225	
前 年 度 比 ( % )	—	23.6	2.6	2.1	
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
	三 ぶ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	4,804	5,940	6,095	6,225	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位	74.1587	91.6950	94.0877	96.0945	
前 年 度 比 ( % )	—	23.6	2.6	2.1	
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
延床面積	64.78	64.78	64.78	64.78	千m <sup>2</sup>

(4) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	有	設備の増減	有
	<p>面積、設備増 2020年9月2日に第2期エリアが開業したため増加。 前回報告でも2期工事分を含んだ面積で作成はしていたが、最新の確認申請書類を確認したところ、差異があったため、本計画書の値に訂正する。※前回報告時の面積 69,600㎡、本計画書の面積 66,532.32㎡ 排出量対前年度35増加の要因 2020年9月2日に第2期エリアが開業したことによる。</p>					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	有	設備の増減	有
	<p>感染症における行動緩和が広がり、昨年度より営業時間および来客者数も増加のため、エネルギー使用量増。</p>					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p>年間を通じて、感染症の影響を受ける事無く営業活動が出来た事で、来客人数が増加。主にレストランの稼働が上がり、設備負荷が上昇、CO<sub>2</sub>排出量が2.6%増加した。</p>					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p>下記の理由により、2023年度のCO<sub>2</sub>排出量が前年度比2.4%増加した。 ・新型コロナウイルス感染症の第5類移行による施設利用者の増加 ・例年よりも猛暑が続いたことによる冷房負荷の増加 前年度と比較して、店舗数・店舗営業時間共に大きな変更はなく、使用量は同等であったため、施設利用者の増加によるものと推考。</p>					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	7,747	t-CO <sub>2</sub> /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

3	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位: t-CO<sub>2</sub>)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)		7,747	7,747	7,747	7,747	30,988
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)		8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						28,508
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						2,480
実 績	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(E)	4,804	5,940	6,095	6,225		23,064
	削減率 (F = (A - E) / A)		23.33%	21.32%	19.65%		—
	排出削減量 (G = A - E)		1,807	1,652	1,522		4,981
各年度の排出量の検証							

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分 中 区 分				
1	130300		13_換気設備の運転管理	季節毎の空調スケジュール管理・設定変更。中間期の一部空調送風停止。	R3	R3	159.2
2	130300		13_換気設備の運転管理	各階駐車場等の給排気ファンの不要時間の停止(夜間OFF)	R3	R3	7.1
3	140200		14_給排水設備の管理	夏季/冬季による、電気温水器・トイレウォシュレットの温水・便座温度調整(OFFまたは低温)	R3	R3	3.7
4	130300		13_換気設備の運転管理	各階駐車場等の給排気ファンの開店前時間の停止(早朝OFF)	R3	R3	2.3
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄